

2017. 4月校長室より

森山の緑、馬場目川のせせらぎに春を実感しております。校長室の窓からは桜が咲き誇り、その向こうに緑のグラウンド、野球場が広がっています。

本校は昭和17年秋田県五城目実科高等女学校を始まりとし、戦後の学制改革を経て、昭和25年秋田県立五城目高等学校として再スタートし、湖東地区唯一の高等学校として、今年で創立75年を誇る歴史と伝統のある地域に根差した学校であります。一万人もの卒業生が県内外、各分野で活躍しております。

本校の校訓は「真実 克己 規律」です。

「真実」は情報のあふれた現代社会から真偽を見極め、本当のものを選択し、判断し、行動する能力が必要であるということ。

「克己」は自分の弱いところを自覚しながらも克服に努め、あきらめず折れない心で目標に向かって進むこと。

「規律」は社会のルールを守る事はもとより、社会人としてのマナーを理解し、人間を思いやれる行動を取れること。

この校訓が示す力こそ、社会で生きるため、社会に貢献するために不可欠なものです。

さて、教育は知識重視から思考力重視へと変わり、自分で問題を発見し、周囲と協働して事の是非を判断し行動する知識や技能が求められています。そして「生きる力」の育成のための主体的な学び、対話的な学び、深い学びが求められ、授業改善の研修が進められています。

そんな中、本校の特色ある取組としての基礎基本を重視した五高ベーシックは、生徒の分かる喜びや成就感の獲得につながっています。また、昨年実施した五城目ソーシャルラボ、ネコバリキャリアの作り方等、本校独自の学習活動は自らの将来関わるべき道筋を照らしました。少子高齢、人口減少の問題に対しても地域を活性化する工夫あるアイデアのプレゼン実践や、地域の方を巻き込んだ学校行事の企画など、将来この地域を自分達の手でなんとかしたいとの意志が彼らから伝わってきます。大いに期待を抱かせる生徒たちです。

本校では、生徒と教職員が良き出会いを果たし、良い関係を築いています。そして充実した高校生活、進路実現のために一丸となって活動しております。さらに保護者のご協力とご支援を頂いて、学校と家庭の連携の中で、生徒の成長を支援したいと思います。また地域社会の皆様方のご理解とご協力もどうかよろしくお願い致します。

生徒たちが、自然に恵まれた素晴らしい環境の中で豊かな心を成長させ、かけがえのない充実した高校生活を送れることを心より願っています。

秋田県立五城目高等学校長 伊 藤 剛